

## トルコ経済を支える観光産業の動向

 開発経済調査部 主任研究員 九門 康之  
[yasuyuki\\_kumon@iima.or.jp](mailto:yasuyuki_kumon@iima.or.jp)

## はじめに

トルコ経済は足元、新型コロナウイルス感染拡大により活動低下を余儀なくされ、低成長となっているが、そうした中で観光産業は同国経済を支える主要産業の一つと位置付けられる。2019年外国人旅行者到着者は4,500万人を達成。同年の観光関連収入は344億ドルで対GDP比率は4.4%を記録した。

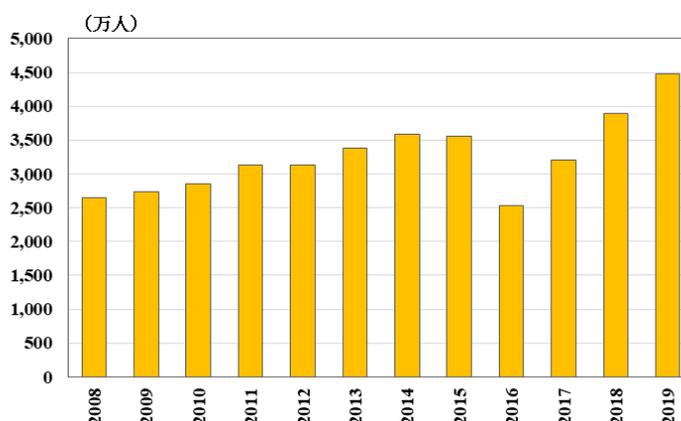
本稿ではまず、2019年までの観光産業の実績を紹介し、同産業が発展した背景について考える。次に、新型コロナウイルス感染拡大の観光産業への影響と政府の対応について報告する。

## 1. トルコ観光産業の実績

## (1) 世界の中での位置付け

トルコは世界有数の観光国である。OECD<sup>1</sup>によれば、2018年の外国人旅行者到着数でトルコは、フランス、スペイン、米国、イタリアに次いで世界第5位（世界シェア3.2%）であった。トルコへの外国人旅行者到着者は、2016年のクーデター未遂事件発生により一旦は落ち込んだものの2018年は前年比21.4%増と回復し、2019年には4,500万人を記録した（図表1）。

図表1：トルコへの外国人旅行者到着者数推移



(資料) トルコ中央銀行データより作成

<sup>1</sup> OECD Tourism Trends and Policies 2020

2019年のトルコへの国別外国人旅行者到着数は、第1位ロシア、第2位ドイツ、第3位ブルガリアと続く。最近の傾向としては、ロシア・イランとの政治・経済関係の強化を反映し両国からの旅行者数が増加している。他方、欧米からのトルコへの足は徐々に遠のいており、なかでも米国とフランスの落ち込みが大きい(図表2)。日本からのトルコ訪問者は2019年に年間10万人を僅かに超える程度にとどまっている。

図表2：トルコへの国別外国人旅行者到着数上位国

順位	2000			2009			2019		
	国	到着者数	比率	国	到着者数	比率	国	到着者数	比率
1	ドイツ	2,277,505	21.8%	ドイツ	4,488,350	16.6%	ロシア	7,017,657	15.6%
2	英国	915,286	8.8%	ロシア	2,694,733	10.0%	ドイツ	5,027,472	11.2%
3	ロシア	677,152	6.5%	英国	2,426,749	9.0%	ブルガリア	2,713,464	6.0%
4	米国	515,284	4.9%	ブルガリア	1,406,604	5.2%	英国	2,562,064	5.7%
5	フランス	449,727	4.3%	イラン	1,383,261	5.1%	イラン	2,102,890	4.7%
6	オランダ	439,819	4.2%	オランダ	1,127,150	4.2%	ジョージア	1,995,254	4.4%
7	ブルガリア	381,545	3.7%	ジョージア	995,381	3.7%	ウクライナ	1,547,996	3.4%
8	イラン	380,819	3.7%	フランス	932,809	3.4%	イラク	1,374,896	3.1%
9	オーストリア	320,630	3.1%	米国	667,159	2.5%	オランダ	1,117,290	2.5%
10	イスラエル	312,301	3.0%	イタリア	634,886	2.3%	アゼルバイジャン	901,723	2.0%
参考	日本	89,463	0.9%	日本	147,641	0.5%	日本	103,320	0.2%
	到着者数合計	10,428,153		到着者数合計	27,077,114		到着者数合計	45,058,286	

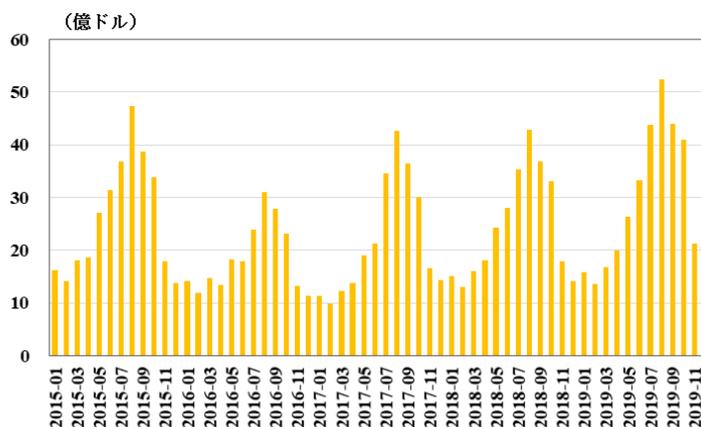
(資料) トルコ統計局データより作成

(2) トルコ経済全体の中での観光産業の位置付け

2019年の観光関連収入は344億ドルで対GDP比率は4.4%を記録した。また、同年の国際収支におけるサービス収入の53.2%を占め、財(商品)の輸出と並びトルコの主要な外貨収入源である。さらに、観光産業従事者は約220万人で労働人口の7.7%を占め、国内雇用を支えている。

観光関連収入には季節性があり7~9月の夏季に増加し、冬季に減少する(図表3)。これは、外国人旅行者の大部分が夏季に海岸地帯のリゾートを訪問していることが背景にある。

図表3：観光収入推移(月次)

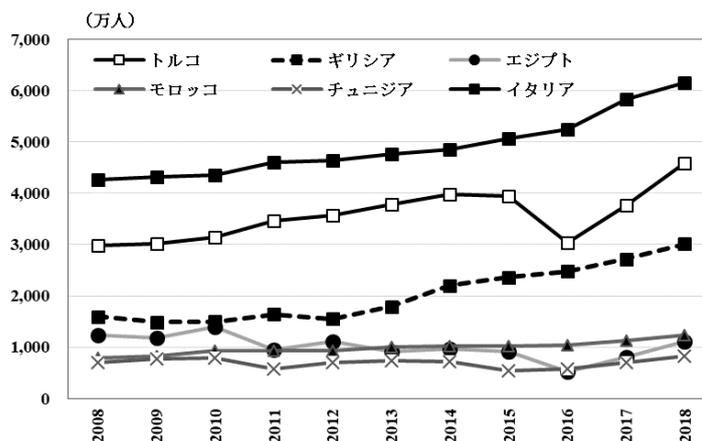


(資料) トルコ統計局データより作成

### (3) 競合する北アフリカ諸国との比較

地中海に面する北アフリカでトルコと競合する諸国には、エジプト、チュニジア、モロッコ等がある。これらの国と比較しトルコへの外国人旅行者数は圧倒的に多い（図表4）。理由としては、これらの国がトルコほど網羅的に観光産業の育成に取り組まなかったこと（トルコの詳細は次章を参照）、地理的位置付けの違い、および治安面でトルコに劣後していること<sup>2</sup>等が考えられる。

図表4：外国人旅行者到着者数の推移



(資料) 世銀データより作成

## 2. トルコの観光産業が発展した背景

### (1) 産業戦略

トルコ政府は観光産業を重要産業と位置付け、2007年に「トルコ観光戦略2023」を策定して本格的な取組を開始した（図表5）。同戦略の特徴は次の通りである。

#### ➤ 包括的な戦略

本戦略のカバー範囲は、交通インフラ整備、マーケティング強化、教育の実施、サービスの質の改善、都市ブランディング、観光分野の分散、観光開発地区の設定など広範囲に及ぶ。本戦略の実施により、トルコ全体のインフラ整備が進み、トルコの印象が改善した。

#### ➤ 官民が連携

文化観光省が中心となり商工会など民間との連携を促進した。本施策に民間部門が参加することで、観光産業を民間経済活性化に直結させることができた。

#### ➤ 観光産業で地域開発

トルコ政府は観光産業を、地域開発の起爆剤として利用した。全国に15カ所の観光開発地区を設定している。地中海沿岸リゾート地域その他、温泉を活用した「医療観光地域」の開発や、冬季リゾートの開発を行っている<sup>3</sup>。

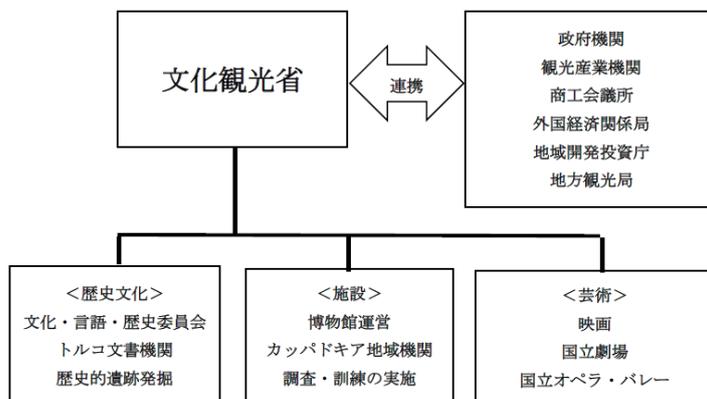
<sup>2</sup> 地中海に面したチュニジアは欧州から2時間程度の距離にあるにもかかわらず、治安に不安があることから外国人旅行者数が伸びない。また、エジプトでは2015年のロシア機爆弾事件が発生して以降、外国人旅行者が減少した。

<sup>3</sup> パムッカレ等トルコ西部には多数の温泉が存在する他、東部山間部では冬季に降雪がある。

➤ 観光教育の実施

トルコの大学等に外国語に加えて観光・ホテル経営学部を設置し、観光従事者レベルの向上を図った<sup>4</sup>。

図表 5：観光関連での連携関係



(資料) トルコ観光文化庁、OECD Tourism Trends and Policies 2020 資料より筆者作成

(2) 外国人誘致策

上記の産業政策をより有効なものとするため、トルコ政府は以下の具体策を実施した。

➤ 入国査証の簡素化

日本を含む 44 カ国のパスポート所持者に入国査証を免除した他、査証が必要な場合もオンライン発行する等の便宜を図っている。

➤ 海外での PR を実施

海外からトルコへの旅行者を積極的に誘致するため、海外 46 カ所に専門の拠点を設置してトルコの PR を行っている<sup>5</sup>。

(3) 固有の事情

上記に加え、トルコには地理、治安、文化において外国人が来訪しやすい環境がある。

➤ 地理的位置付け

トルコへは EU、ロシア、アラブ諸国のいずれからも交通アクセスが良い。欧州、ロシア等からの直行便は料金が安く<sup>6</sup>、トルコ旅行への経済的負担が小さい。

➤ 治安が安定

トルコは全般的に治安が良く外国人が安心して旅行できる<sup>7</sup>。2015～16年にテロが発生したが、その後警察力の強化により治安が改善した。

<sup>4</sup> ホテル等での英語使用は、1990年代と比較し各段に改善した。

<sup>5</sup> 日本ではトルコ大使館内の文化広報参事官室が担当している。 <http://www.tourismturkey.jp/information/>

<sup>6</sup> ベルリン・イスタンブールの往復格安航空券が 22,000 円と手ごろな価格である。

<sup>7</sup> 日本外務省は海外安全情報（危険情報）で、トルコの大部分の地域に危険情報を発出していない。例外は、2017年にテロが発生したイスタンブール「十分注意」と、戦闘により治安が悪化しているイラク・シリア国境付近に「退避勧告」等である。

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsposhazardinfo\\_052.html#ad-image-0](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsposhazardinfo_052.html#ad-image-0)

➤ 世俗的な対応

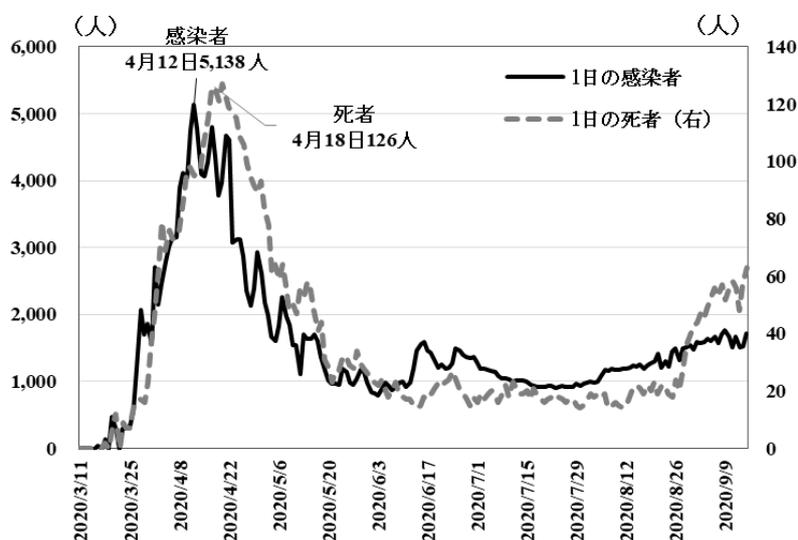
トルコではイスラム教が広く信じられているが、世俗的対応を原則としており、大都市や観光地で、中東湾岸諸国のように外国人にイスラム教の習慣を強制することはまれである。

### 3. 新型コロナウイルス感染拡大の観光産業への影響と政府の対応

#### (1) 感染拡大の現況

トルコでは2020年3月から新型コロナウイルス感染者が増加し、4月中旬に感染者数のピークを迎えた。死者数は4月後半に最多となった。その後、感染者・死者とも漸減したが、9月15日現在、夫々1,716人、63人現状と、やや増加傾向にある（図表6）。

図表6：トルコでの新型コロナウイルス感染者・死者の推移

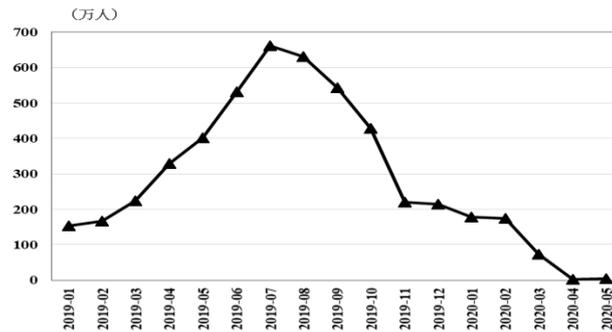


(資料) WHO データより作成

#### (2) 観光産業への影響～激減した外国人旅行者到着数

新型コロナウイルス感染拡大によりトルコ政府は3月27日に感染拡大を抑制するため空港の全面閉鎖に踏み切った。そのため、例年であれば春から夏にかけて増加する外国人旅行者が4～5月はほぼゼロとなり、観光産業は大打撃を受けた（図表7）。その後も、世界的な新型コロナウイルス感染拡大が続いており、トルコへの外国人旅行客回復の目途は現時点ではたっていない。

図表 7：外国人旅行者到着数（月次）



(資料) トルコ中央銀行資料より作成

### (3) 政府の対応～観光産業支援

トルコ政府は新型コロナウイルス感染拡大による、観光産業への影響を緩和するため、以下の支援策を実施している。(ただし、現時点では同産業の停滞を反転させるまでには至っていない。)

#### ➤ 経済支援

政府は新型コロナウイルスによる国内の経済活動低下対策として 3 月に経済支援策を発表し、納税猶予、信用保証枠拡大、低利融資実施などを実施している。観光産業向けには、国内航空券の VAT を 18% から 1% に減額、ホテル宿泊税の免除等の支援を実施している。

#### ➤ 「安全観光認証 (Safe Tourism Certificate)」の発行

観光産業支援策の一つとして「安全観光認証」の発行を開始した。同認証は、施設消毒・マスク着用等の感染対策、従業員の教育を実施したホテル・レストラン等観光施設に付与されるもので、外国人旅行者に安心感を与えて施設利用の促進を図るものである。

#### ➤ 公共施設の衛生対応強化

公共施設の衛生対応を強化することで、安心して旅行できるトルコを PR している。具体例として、2020 年 8 月イスタンブール新国際空港が、世界航空評議会が新たに設置した「健康と安全に関する評価」で世界第 1 位を獲得した。

### おわりに

トルコの観光産業について、2019 年までの実績と同産業が発展した背景をみてきた。現在は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で外国人旅行者数が激減し、政府の支援策にもかかわらず同産業は停滞している。今後の状況は予断を許さない。ただし、新型コロナウイルス感染拡大が収束し観光ニーズが回復した暁には、上述のように、これまで整備してきたインフラ（新空港、鉄道・都市交通網、都市・リゾートのホテル等）や蓄積したノウハウ（ホテル経営、接客技術、外国人旅行者受入体制等）を活用することが可能になるだろう。観光産業が、再びトルコの主要産業として経済を支えることは引き続き期待可能と思われる。

以上

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2020 Institute for International Monetary Affairs (公益財団法人 国際通貨研究所)

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: Nihon Life Nihonbashi Bldg., 8F 2-13-12, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo 103-0027, Japan

Telephone: 81-3-3510-0882, Facsimile: 81-3-3273-8051

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-13-12 日本生命日本橋ビル 8 階

電話 : 03-3510-0882 (代) ファックス : 03-3273-8051

e-mail: [admin@iima.or.jp](mailto:admin@iima.or.jp)

URL: <https://www.iima.or.jp>